

監査（検査） 対 象 機 関 ・ 団 体 （ 会 計 ）	財団法人大阪府保健医療財団	監査（検査） 実 施 年 月 日	委 員 平成24年12月7日
			事務局 平成24年11月5日から 平成24年11月6日まで

**委員意見**

財団法人大阪府保健医療財団の実施している検診車によるがん検診事業において、平成28年度までに検診車による稼働率を75%とすることを目標としているが、検診回数が減少傾向にあることから、より一層の経営努力が必要であり、計画どおりに進捗しているか継続的にモニタリングをすることが重要である。

また、検診車のうち、コンピューター断層撮影装置搭載の大型車については、稼働率が低い水準にあるため、稼働率の状況や今後かかるであろう修繕費を考慮した収支計画を策定し、今後も事業を継続していくか検討されたい。

**1 背景・現状**

財団法人大阪府保健医療財団（以下「法人」という。）の実施している検診車によるがん検診事業において、平成24年度から平成28年度までの5年間でこれに係る府補助金70百万円の削減が計画されている。

当該事業は、がん検診不足地域の検診の受け皿としての、府内各地への車検診事業であり、今後5年間で地域がん診療拠点病院を中心とした、検診から医療への一連の提供体制が構築されることから、削減されるものである。

法人としては、平成28年度までに検診車の稼働率を75%とすることを目標に掲げているので、どのようにして目標達成していくかが課題となる。検診車の稼働率については、平成18年度の57.3%から平成23年度では66.6%と上昇しているものの、検診車の台数が減少していることにも起因しており、全体の検診回数については、平成18年度が1,616回、平成23年度が1,558回と減少傾向にある。

過去の車検診事業の検診車の稼働率

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
検診車の台数	12台	12台	12台	11台	10台	10台
検診回数	1,616回	1,606回	1,597回	1,666回	1,593回	1,558回
全体の稼働率	57.3%	56.5%	56.6%	64.7%	67.8%	66.6%
うち、大型CT車	17.4%	18.1%	16.2%	16.2%	17.0%	14.1%

また、検診車10台のうち、府所有の検診車は2台あり、そのうち、コンピューター断層撮影装置搭載の大型車（以下「大型CT車」という。）については、平成23年度の稼働率が目標に対して14.1%と非常に低い水準である。

この大型CT車は、府が財団法人日本宝くじ協会の補助金を財源に、平成17年1月に94,950千円で取得したものであり、平成23年度における大型CT車による検診事業の収支は次のとおりであった。

項目		金額（千円）
収入	検診収入	15,104
支出	人件費	2,484
	保守費	4,000
	読影料	2,308
	その他	2,908
支出計		11,701
収支差額		3,402

## 2 課題

法人の実施している検診車によるがん検診事業において、平成28年度までに検診車による稼働率を75%とする目標としているが、これまでの稼働率については上昇傾向にあるものの、検診車の台数が減少し、全体の検診回数が減少傾向にある。今後も、現状、法人が保有する検診車10台で検診事業を運営して目標を達成するにはより一層の経営努力が必要である。

現状では稼働率の低い時期の検診の実施について府内の市町村に対して働きかけ、稼働率をあげるよう取り組んでいるが、今後は検診車ごとにその稼働率や収支の状況を確認するなど、中期計画どおりに進捗しているか、継続的にモニタリングすることが重要である。

大型CT車については、府が補助金を財源に購入していることから、公的な財源が使われており、府の投資コストもあわせて費用対効果の検証は必要であり、今後は大規模な検診車であるため維持修繕コストが必要になると思われる。稼働率の状況や今後かかるであろう修繕費を考慮した収支計画を策定して、今後も事業を継続していくか検討されたい。